

技術ノート KGTN 2011100501

現象

[GGW3.1.1] Ver3.1.1 のサービス **GO-Global Update Client** の機能は？

説明

Ver3.1.1 では、Windows のシステムファイル **win32k.sys, ntoskrnl.exe, ntdll.dll, user32.dll, gdi32.dll** 用のカスタムインタフェースが存在し、これらのシステムファイルが更新された時、常に GG のカスタムインタフェース (VBM ファイルとして提供) も更新する必要があります。 (Ver3.1.1 の) **GO-Global Update Client** は、これらのシステムファイルが更新されたかどうかを監視し、更新された場合はそれに対応する VBM ファイルが存在するかどうかを調べ、存在すればカスタムインタフェースを更新する処理を行います。

しかしながら実際の運用では、Windows の新しいシステムファイルがリリースされた時、GraphOn 社は互換アップデートでこの VBM ファイルを提供しており、(互換アップデートの) インストーラーが VBM ファイルをインストールする機能を持っているため、**GO-Global Update Client** が有意に働く状況は発生しません。このようなことから、**GO-Global Update Client** を無効化することをお勧めしております。

注意

上記の理由および自動互換アップデート機能の実装により、Ver3.2.1 には **GO-Global Update Client** は存在しません。また Ver4.0 に存在する **GO-Global Update Client** は、サービス名は同じですが、「クライアント側のモジュールを更新する機能」で、全く内容が異なるサービスです。

Last reviewed: Oct 05, 2011

Status: DRAFT

Ref: NONE

Copyright © 2011 kitASP Corporation